

4月5日、豊中市立ローズ文化ホールで豊能地区公立学校初任者研修及び新規採用養護教諭・栄養教諭・学校事務職員研修の開講式が行われました。当日は、小学校99名、中学校42名、新規採用者5名が出席しました。新年度が始まり、学校では新年度の体制づくりの会議や、新学期にむけての準備や打ち合わせ等が続く中で、午後からの校外研修は、なかなか慌ただしかったと思います。

まもなく迎える子どもたちとの出会いへの期待と不安が入り混じった中での開講式では、事務局長の挨拶にはじまり、服務の話、そして豊能地区の小中学校の先輩、豊能町立東能勢小学校の本間先生、池田市立ほそごう学園の照内先生のお二人からメッセージをいただきました。

☆服務について

- 信用失墜行為やコンプライアンスのお話を聞き、今までの立場とは違い常に見られている身として勤務中はもちろん、それ以外でも恥ずかしくないふるまいを心がけたいです。
- 改めて確認し、公務員としての責任を持った行動をしたいと思います。
- 公務員として改めて身を引きしめて、日常を過ごさなければいけないと感じました。



「社会人として」・「大人として」のマナーや、普段の行動や態度、言葉づかいなどを常に振り返るようにしましょう。

☆先輩からのメッセージ

- 自分の心の余裕は、目の前の子どもにも影響を与えるという言葉が印象に残りました。初めてのことばかりで余裕がなくても子どもたちとは笑顔で楽しく過ごせるように励みたいと思います。
- この3日間でもとても不安な気持ちになり、自信を無くしていたのですが、最初は皆同じなのだと少し安心しました。子どもたちの元気と笑顔に支えられながら、自分らしさを大切にして頑張ろうと思えました。
- 失敗してもそこから学んでいき、活かせるように努めていきたいです。
- 「わからないことは悪いことではない」という言葉を受け、私もこれから積極的にベテランの先生に聞きに行き、自分の中でインプットし、それをアウトプットできるように学び続けていこうと思います。

「報告・連絡・相談」は、なぜ大切なのでしょう？自分のためだけでなく、子どものため、学校のためにも日ごろから先生同士の連携・つながりは大切です。4月からの新しい環境で、先輩の先生に声をかけにくいなあ…、なかなか聞きにくいなあ…という思いは、誰もが通ってきた道です。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」と唱えてから思い切って自分から声をかけてみましょう♪

☆安心をつくる 傾聴・信頼・尊重☆

研修の後半は、大阪多様性教育ネットワークの沖本和子先生による講義・演習でした。講義や演習を通して、「先生として」心がけたい大切なことや、子どもの見方、接し方、言葉かけについて間近に迫った子どもたちとの出会いを前に具体的なイメージをもつことができたのではないのでしょうか。

およそ1か月が経ちましたが、講義での沖本先生の言葉や、演習での自身の気づきは、どんなことが残っていますか？今、まさに実践していることや、これから取り組んでいきたいこともあると思います。改めて、みなさんが記入した「振り返りシート」の抜粋(裏面)から講義での学びを思い返してみてください。

- 好きなものの自己開示ワークで自分自身が感じた難しさをよく覚えておいて、実践するときにはどのように行うべきか考えたいです。
- 子どもの話を聞く時には、うなずく・秘密を守る・話をするまで待つということを大事にしていきたいと思いました。
- 子ども一人ひとりとは違うことが「あたりまえ」だと、子どもに伝えることをまずは実践したいと思いました。また、自分自身の「あたりまえ」を子どもたちに押しつけることのないよう声かけも注意しなければいけないと思いました。
- 「夢をあきらめないハート」や「新たな夢をもてるつながり」はどちらも将来に関係していることであると感じました。
- 私が思っているよりも大変な状況で生活しているかもしれない子どもが学校に安心して来ることができるように、しっかりとルールを考えるとともに、一人ひとりをしっかりと観察して子どもの変化に気づくように努めたいと思います。
- 中学1年の担当なので、違う小学校から入学してくる子のことなど、それぞれ違う6年間を過ごしてきた子どもたちが集まって中学校に来てくれているということを頭に置いて過ごそうと思います。
- その子の気持ちをしっかりと聴いて、尊重すれば、みんなが安心できる場所になるのかなと感じました。
- 自分が小学生の時に持った「先生になりたい」という夢を、その時の担任の先生は全力で応援してくれたし一緒に追いかけてくれていたような気がしました。夢をあきらめずに一緒に追いかけてくれる先生は素敵だと思いました。



これまでみなさんが抱いてきた「先生になりたい」という夢は、採用試験の合格で果たせたのかもしれませんが、しかし、今、初任者として立っているのはスタートラインです。これからの夢は何ですか？みなさんはどんな先生になりたいですか？

☆「振り返りシート」には、これから初任者として過ごす一年の意気込みや、年間を通して受講する初任者研修に対する思いや、大切にしたい心持ちもたくさん書かれていました。

- 早く子どもたちに会いたいという気持ちがすごく強くなりました。
- 若い新しい力がいかに重要視されているか改めて考えさせられました。
- 初心を忘れずに一年間、日々を大切にがんばっていきたいです。
- 初任研で同じような方と一緒に学ぶと不安な気持ちがやわらいでいくような感じがします。
- 先輩の先生方が一年を経て、子どもたちのことを楽しそうに語っている姿を見て、自分も一年後そう感じられるようがんばっていこうと思いました。
- 講師経験を経て教諭になりましたが、今年しかない初任者研修を大切にたくさんを学びたいと思います。
- 学校に同期がいないので、研修で初任者となつなげることができて、教員生活に希望をもつことができました。

初任者としての一年は本当に「学ぶこと」が多いです。気づくこと・考えること・感じることが多いとも言え換えられるかもしれません。どこで誰と過ごすかはとても重要です。所属の市や町は違えど、同期として共に高め合い刺激し合える関係を大切にしたいですね。

楽しいことや嬉しいことはもちろん共有しながら、時には苦しいときや悩むときもあるかもしれませんが、同じ初任者だからこそ共感できることがあるはずですよ。励まし合い支え合える関係も大切にしてください。空はつながっています！同じ空の下、豊能地区でこれからも共に学び続けましょう！